

広島大学大学院人間社会科学研究科・教育人文社会科学
科学研究科人間総合科学プログラム（博士課程前期）
入学試験（令和8年8月実施）

受 験 番 号						
M						

問題用紙

専門科目

[一般選抜]

【問】次の十語をすべて用いて、中国文学史における仏教文学の形成と展開について、歴史的な流れに沿って論じなさい。（一二〇〇字程度）

鳩摩羅什、慧遠、謝靈運、王維、白居易、敦煌、変文、経变画、講唱、法華経

出題の意図

本問題は、中国文学史の基礎的知識を前提として、中国仏教文学を文学史の中に位置づけて理解する能力を評価することを目的とする。

中国仏教文学は、仏教經典の漢訳に始まり、文人文学、講唱文学、敦煌文献、経変画などを通じて、中国固有の文学・思想・信仰と融合しながら発展した。本専攻では、これらを単なる宗教文学としてではなく、中国文学史を構成する重要な要素として捉え、さらに文学・図像・信仰実践を総合的に考察する視点を重視している。

本問題では、「鳩摩羅什」「慧遠」「謝靈運」「王維」「白居易」「敦煌」「変文」「経変画」「講唱」「法華経」の十語を指定することにより、受験者が中国文学史の時間的展開を理解し、それぞれの人物・概念・資料を相互に関連づけながら論述できるかを評価する。単なる用語の説明や知識の羅列ではなく、中国仏教文学の形成と展開について、自ら論理的な構成を組み立て、歴史的・文化的な視点から総合的に考察する能力を求める。

また、文章構成力、論理性、専門用語の適切な運用、文学・思想・宗教・図像を横断的に理解する力についても評価対象とする。